

情報連絡員報告総括表(平成28年8月分)

三重県中小企業団体中央会
連絡員総数 40名
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況							
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化					
製 造 業	食 料 品		4			4		1	3			4		1	2	1		3	1		4			4			3	1					
	織 維 工 業		1	2		3			3			2	1		1	2		2	1		3			3				3					
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1				1			1		1				1		1				1					
	紙 ・ 紙 加 工 品		1	1		2			2			2				2		2				2		2			1	1					
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1						
	化 学 ・ ゴ ム																																
	窯 業 ・ 土 石 製 品	1		2		2	1		3			3		1	2			3		1	1	1	1	2			3						
	鉄 鋼 ・ 金 属		1			1			1			1			1			1		1			1				1						
	一 般 機 器	1	1	1	1	1	1		2	1		3			1	2		3			2	1	1	2			1	2					
	電 気 機 器			1		1				1		1				1			1			1		1				1					
	輸 送 機 器			1		1			1			1				1		1				1		1			1						
	そ の 他																																
小 計		2	9	9	1	17	2	1	17	2		18	2	2	8	10		17	3	2	11	7	3	17			11	9					
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		2			1	1		2			1	1		2		X				2			1	1					
	小 売 業	2	3	1		5	1	2	4		5	1	1	2	3		4	2							6		1	2	3				
	商 店 街	1			1			1			1			1			1									1			1				
	サ ー ビ ス 業	1	1	3	X			1	4		1	4		1	1	3		4	1								5			4	1		
	建 設 業	1	2	1					4			4			4			3	1					4					4			3	1
	運 輸 業		1						1			1			1								1						1			1	
	そ の 他		1									1			1								1						1			1	
小 計		5	9	6	1	7	1	4	14	2	1	18	1	3	8	9		17	3			1	19		1	13	6						
合 計		7	18	15	2	24	3	5	31	4	1	36	3	5	16	19		34	6	2	11	7	4	36		1	24	15					

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成27年8月～平成28年8月)

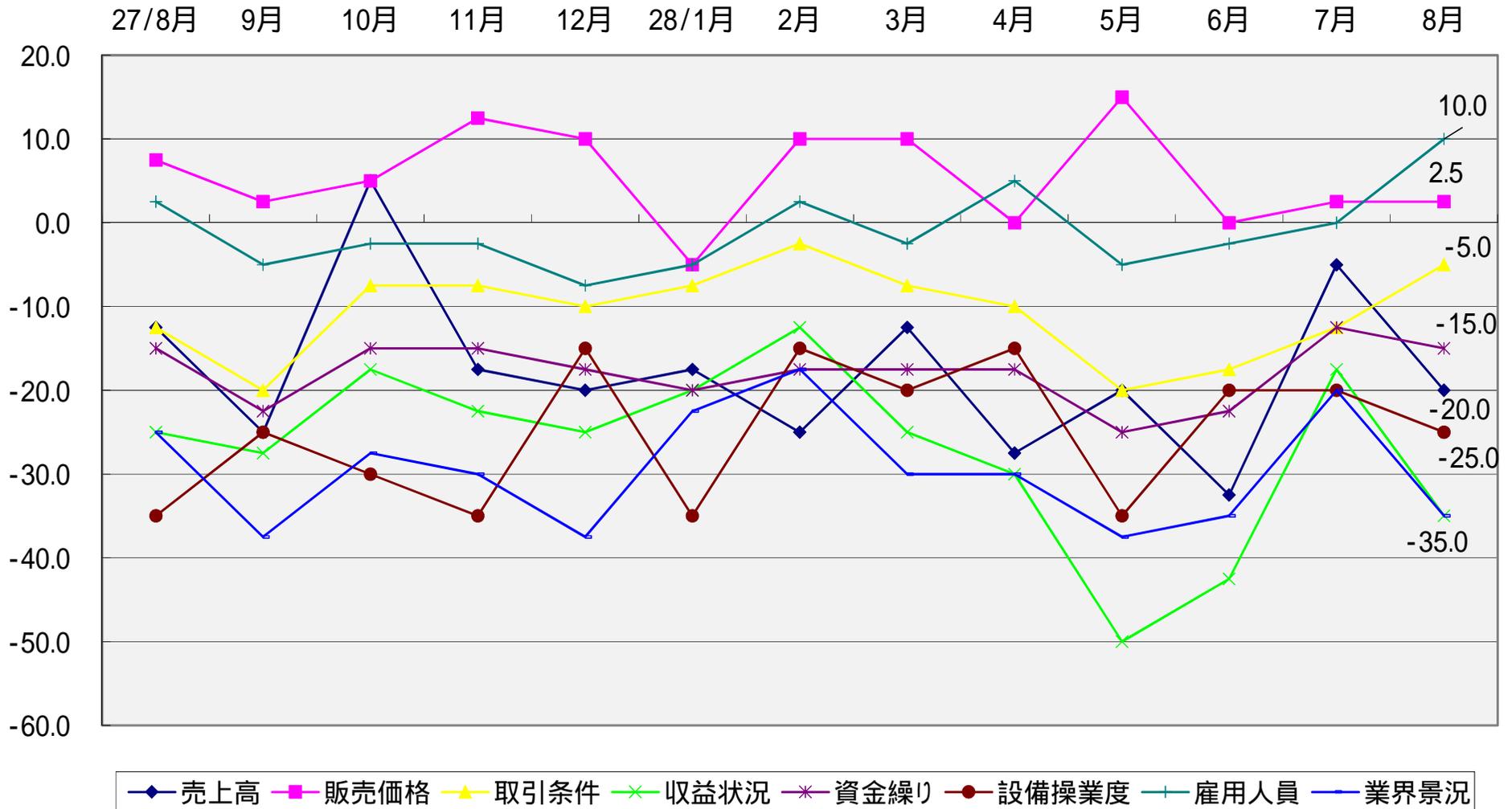
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	27/8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-12.5	-25.0	5.0	-17.5	-20.0	-17.5	-25.0	-12.5	-27.5	-20.0	-32.5	-5.0	-20.0	-15.0
販売価格	7.5	2.5	5.0	12.5	10.0	-5.0	10.0	10.0	0.0	15.0	0.0	2.5	2.5	0.0
取引条件	-12.5	-20.0	-7.5	-7.5	-10.0	-7.5	-2.5	-7.5	-10.0	-20.0	-17.5	-12.5	-5.0	7.5
収益状況	-25.0	-27.5	-17.5	-22.5	-25.0	-20.0	-12.5	-25.0	-30.0	-50.0	-42.5	-17.5	-35.0	-17.5
資金繰り	-15.0	-22.5	-15.0	-15.0	-17.5	-20.0	-17.5	-17.5	-17.5	-25.0	-22.5	-12.5	-15.0	-2.5
設備操業度	-35.0	-25.0	-30.0	-35.0	-15.0	-35.0	-15.0	-20.0	-15.0	-35.0	-20.0	-20.0	-25.0	-5.0
雇用人員	2.5	-5.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	2.5	-2.5	5.0	-5.0	-2.5	0.0	10.0	10.0
業界景況	-25.0	-37.5	-27.5	-30.0	-37.5	-22.5	-17.5	-30.0	-30.0	-37.5	-35.0	-20.0	-35.0	-15.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成28年8月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	漬物業界では、良質な原料をいかに入手できるかが重要な課題であるが、今夏、高温が続き、天候の不安定や生産者の高齢化等により、特にキュウリ等の確保が心配されたが、お盆前の一時の廉価傾向もあり、情勢としては不変で推移した。
		醤油味噌	10月1日は醤油の日で、記念に「ふるさとしょうゆプレゼント」を行う。(10月1日告知、しょうゆ情報センターより)11月30日締め切り。昔は農閑期の10月頃に、その年の新穀の大豆や小麦を使ってしょうゆを仕込み、10月は干支で10番目の「酉(とり)」にあたり、「酉」は甕の形からできた象形文字で、甕は醸造物を仕込む容器として使われ、「醬」の字にも使われている。このような背景から10月1日を醤油の日とした。
		豆腐	8月は暑い日が続き、豆腐の売上はおおむね順調であった。
		製麺	全体的には麺業界は忙しい状況である。伊勢うどんに関して、他府県の流通関係からの引き合いもあり、認知度が上がってきた。今後、地域でブランドを構築して取り組んでいく。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	昨年の8月と同水準の生産量であった。猛暑のために農産物分野は少し減少した。県外大手メーカーが、組合員の固定客に安値で見積りの提出があり、その価格対応のために収益が悪化した。
		古紙	8月期の仕入量は、前年比：段ボール・約95±4%位、新聞、チラシ・約93±4%、雑誌、雑紙、その他・合わせて約95%±4%位の中での推移である。暑さや台風の影響から集荷が悪い様に思う。原紙の流通量は、板紙は前年より伸び、紙類は減少し、合わせて前年比微減した。先日電車に乗った時、乗車率70%程で本を読んで見える方が1名、それ以外の方の半数以上がスマホ又はipadを利用していた。今年は、残暑期待の古紙の発生を期待したい。古紙の集荷方法の多様化や業界のボーダレス化と集荷形態や取引先により、段ボール古紙の集荷には大きな差がありそうである。新聞古紙や雑誌古紙は、2月、8月の発生減の時期と上記の理由で当社は激減している。今のところ、何とか無事に経営できてはいるが...
	印刷	印刷	今年度も三重県より県民手帳の製作販売が当組合に決定した。5月より進めてきた製作(コンテンツの協議や資料調査からデザイン版下、チェック作業等)がようやく完了し、10月初旬の発行に向けて印刷製本作業に入った。発行部数は、昨年より更に増えることが決定し、今後は広報、販売活動を進める。
	窯業・土石製品	伊賀焼	昨年と比べ、伊賀焼伝統産業会館及び伊賀・信楽古陶館とも入館者数、売上のいずれも昨年を下回っている。その原因として、考えられるのは、夏の暑さと考えられる。秋になって涼しくなれば、回復すると思われる。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界全体の生産量としては、7月同様若干落ち込んだ。自動車関連は落ち込み、新車種が発売されるまでは、この傾向が続きそうである。建築金物は、9月以降少し戻るとの情報があり、期待されている。半導体関連は、増加し、人出不足といった状態にあり、人材派遣、アルバイト等で補っている。今年いっぱいこの傾向であると予想していたが、来年以降も続くと推測されている。
	一般機器	四日市	先月あたりから景況の悪化が目立ちはじめた。仕事量は、減っていないが、収益性が低下しつつある。組合員それぞれが自動努力により頑張っている。
電気機器	鳥羽	7月同様新たな展開がなく、受発注はスロープで、分岐点を割るところまできている。	
輸送機器	鈴鹿	夏休みということもあり、稼働日が少なく、特に目立った動きもなかった。熊本地震の影響で、一部の操業が停止したままだった大手自動車メーカーの熊本工場も一部をほかの地域へ振り分けるなどでようやく9月から全面稼働することになった。	
非製造業	小売業	青果	野菜：前半は、キュウリ、トマト、ナスが豊富に入荷。キャベツも安値が続くそう。大根は、高値。後半もキャベツ、白菜は順調に入荷。北海道産の野菜が台風による長雨が収穫のピークと重なり、出荷に大打撃。これから先高値が続くそうである。果物：前半は、デラウェアは、県内産、県外産とも豊作で味もよく、お値打ち。地場産の幸水梨もピーク。西瓜も天候に恵まれ、入荷も多い。後半は、産地も台風の影響が少なく、種類も豊富で全般的にお買い得である。
		自転車	学校の夏休み等業界も稼働日数が通常よりも少なく、売上額は昨年と変化なく、商品値上がり分落ち込んだ計算となる。各メーカーも2016年オタムセールと題して注文案内を出すも各小売店は反応を示さない状況である。9月には、スポーツ車メーカーが大阪、東京、名古屋等で大試乗会を開催しようだが、取引先のショップは一部の者の参加にとどまる感でこれも組合員全体の高齢化による影響ではないかと案ずるところである。

非製造業	小売業	家電	猛暑日が多く、夏物商品に期待したが、思いのほか需要が伸び悩んだ。リオオリンピックの特需への期待もあったが、販売には結びつかなかった。9月より秋から年末商戦の仕込みに入り、各地区で研修会やお客様訪問を中心とした活動を推進していく。
		石油	8月の燃料油販売数量については、先月に引き続き暑い日が続いているため、車内冷房の影響と盆休みの自動車による帰省により、前年対比106%前後の増販状況であった。しかしながら、今後、低燃費自動車等の普及により、燃料油販売数量に期待できないことと、さらに、人出不足により、車両の設備点検等の収益改善を行う上で、整備士等の技術者の確保が厳しい状況になりつつある。
		スポーツ用品	リオデジャネイロオリンピックが日本選手の大活躍で終わった。凱旋した選手たちをテレビが毎日のように放送していた。我々の業界にとっては、大いに喜ばしいことで、この高揚をビジネスチャンスとして取入れ、さらに平成30年のインターハイ、平成33年の国体へとつなげていければと思っている。
	商店街	熊野	毎年8月第一日曜日に開催される和太鼓フェスは、今年で21年目を迎え、大勢の観客で賑わった。併催イベントとして開催されたビアガーデンと物産展も昨年以上の売上を上げ、大いに盛り上がった。また、17日に開催した熊野大花火大会に併せ、同商店街内で開催された「郷土くまの物産展」は、臨時駐車場からのシャトルバス発着場所が近くなり、また先着1,000台に対し、物産展で使用できる500円のお買い物券を発行したことにより、例年以上の集客と売上を上げた。
	サービス業	旅館	昨年は、地域振興券の効果で、各地ともに宿泊客が伸び、伊勢志摩においては、サミット会場を一目見たいと日帰り客が賢島へ押しかけ、賑わっていた。今年は集客に繋がる様な情報もなかったが、台風によるキャンセルもなく、好天続きであったため、月の初めは、少し低調であったが、後半で挽回したため、昨年並みの集客であった。しかし、業態による格差が年々大きくなってきている。
		警備	夏季休暇や盆休み等で受注が減少した。
	建設業	内装工事業	8月は盆休みも重なり、思うように売上等は伸びなかった。今後、このように上下の変動が続くと思われる。
		水道工事業（四日市）	今月に関しては、特に大きな変化は見られなかった。8月ということもあり、熱中症等の事故、怪我が起こらないように通常の日より、多くの注意を払って工事を行ったため、工事の進行が予定通りにならず、収益面において多少の影響を与えたケースもあると考えられる。
	運輸業	トラック	燃料価格が一時期に比べ、安値で推移しており、収益につながっている。今後の価格動向を注視。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	三重県産小麦のPRに取り組んでいただきたい。
一般機器	四日市	中小企業の環境は、中々改善されない。政府の抜本的な施策を強く望む。
	伊勢	長短借入の金利は、低い状態が続いているものの、先行きの不透明感から設備投資には、今まで以上に慎重にならざるを得ない。雇用では、新卒採用の確保が年々難しくなっているように感じられる。
サービス業	旅館	民泊問題も不動産業界、海外民泊サイト等の強烈的な圧力により、解禁の方向で動いているが、地方においては、地域の実情を十分考慮して運用してもらいたい。
運輸業	トラック	引き続きの生産性向上等に資する設備投資に対する支援者措置を講じて頂きたい。